



沖縄のこれから

皆様のご意見をお聞かせください

沖縄のくらしや旅行のありたい姿と、
そのための交通の姿



～美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局



「沖縄のくらしや旅行のありたい姿とそのための交通の姿」について、皆様の声をお聞かせください。

○沖縄では、通勤・送迎・買い物・仕事など、自家用車前提のライフスタイルが深く根付き、これまでの経済成長を支えてきました。

一方で、そのライフスタイルが、慢性的な渋滞の発生・運輸部門のCO2排出量増加など、生活、社会、経済の質を低下させる要因ともなりつつあります。

○今後、持続可能なくらしや旅行、それを支える交通環境をつくっていくためには、地域の住まう方や訪れる方とともに、ライフスタイルや旅行のあり方を含めたトータルでの交通サービスの再デザインに取り組むことが求められています。

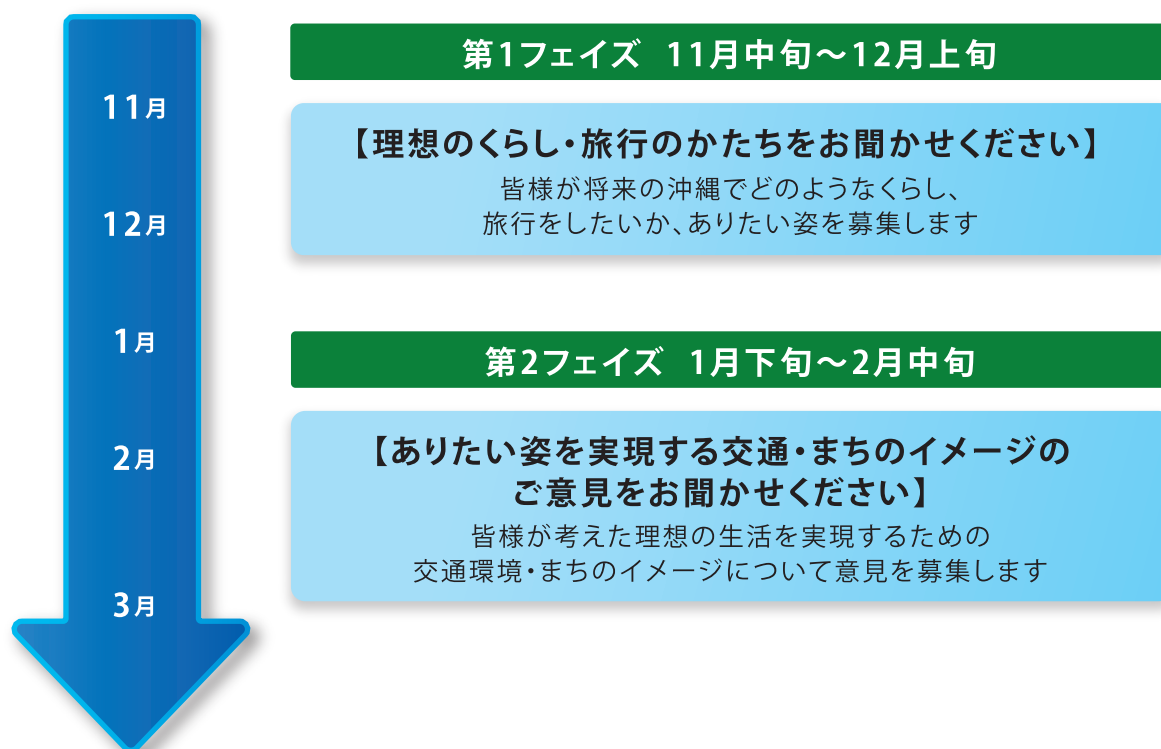
○このため、今般、沖縄の交通環境やくらしの現状と課題を整理し、ご紹介しつつ、皆様が考える「沖縄のありたい姿」について、インタビューやアンケートなどを通じて、皆様のご意見を募集いたします。

○沖縄での望ましいくらしや旅行の姿、そして沖縄の未来と、その実現に必要な交通環境、まちの姿について、皆様の声をお聞かせください。



今回は、沖縄のくらしや旅行の「ありたい姿」について、 声をお聞かせください。

- 皆様のくらしや旅行の質を高める交通環境を実現していくためにご意見を募集します。
今回は、全2フェイズのご意見募集のうち、第1フェイズとなります。
- 第1フェイズでは、現在の社会・交通環境では実現できていないこと、あるいは「本当はこのようなくらし・旅行がしたい」といった「ありたい姿」への思いをお聞かせください。
- なお、第2フェイズでは、今回のご意見募集の結果を踏まえて、沖縄のくらしや旅行のありたい姿の実現に必要な交通・まちのイメージについてご意見を伺い、来年度以降の取組につなげてまいります。



県内のインタビューおよびオンラインアンケートにてご意見を募集しています。
詳細は、内閣府 沖縄総合事務局のパブリックインボルブメント特設ページをご参照ください。

〈内閣府 沖縄総合事務局ホームページ〉

右の二次元コードを読み取り、
または下記 URL からアクセスください。

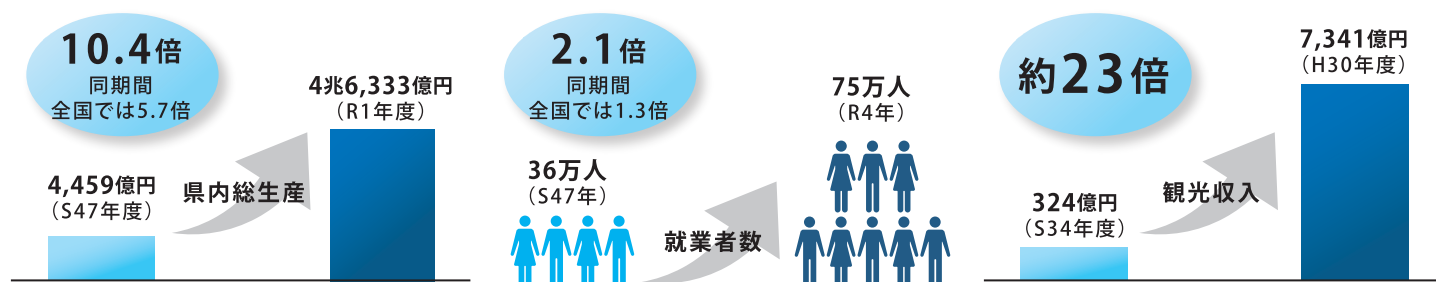
<https://www.ogb.go.jp/nyu/9280/okiko-ridezain/Pizissi>



2 沖縄のいま

沖縄の経済は着実に発展してきましたが、今後、生活や滞在の質を高め、持続可能な経済社会づくりを進めていくためには課題も残されています。

経済は全国を上回る水準で発展し、観光はリーディング産業として成長しています



出典：内閣府沖縄振興審議会（第38回）資料より
（注）観光についてはコロナ前のデータを記載。直近データは観光収入2,924億円（令和3年度）

沖縄でも人口減少、高齢化が進行しています

既に人口減少が著しい地域があります

人口減少

高齢者人口推移

2030年より
減少見込み

1.8倍
全国でも1.6倍
平成12年～令和2年

出典：国勢調査、社会保障・人口問題研究所

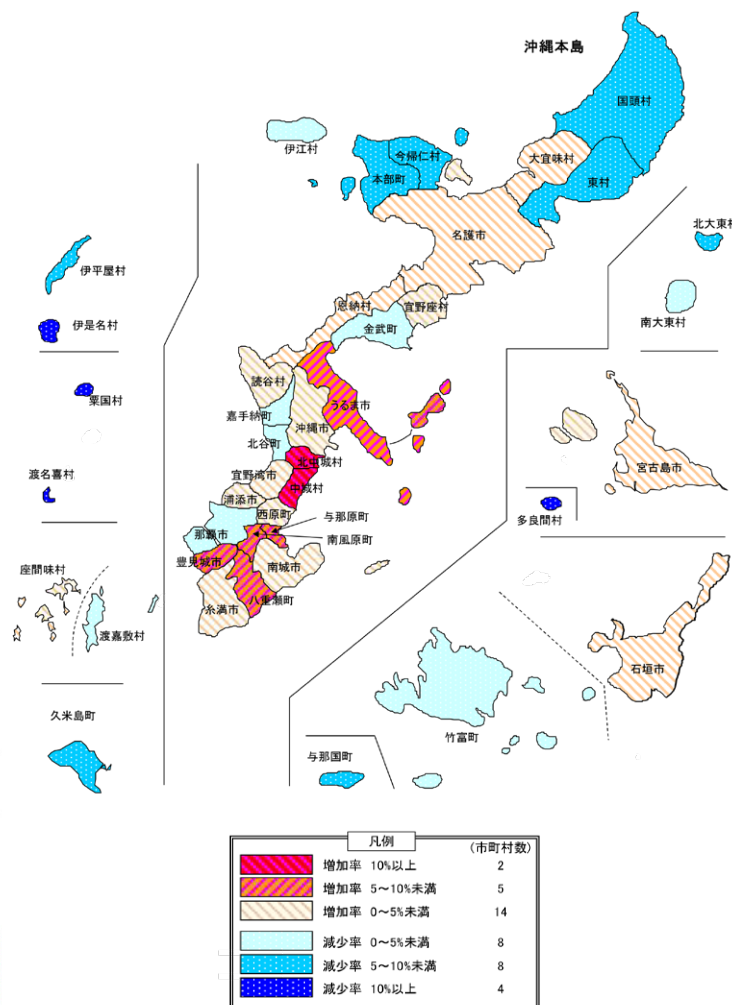
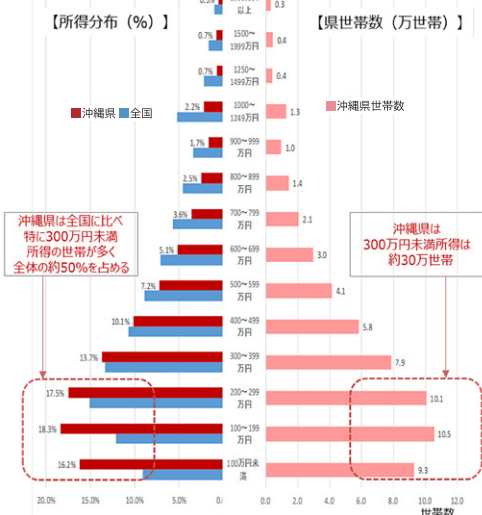
経済発展を所得に繋げていく必要があります

一人当たり県民所得

約239万円
全国
約320万円

子供の相対的貧困率

29.9%
全国
13.5%



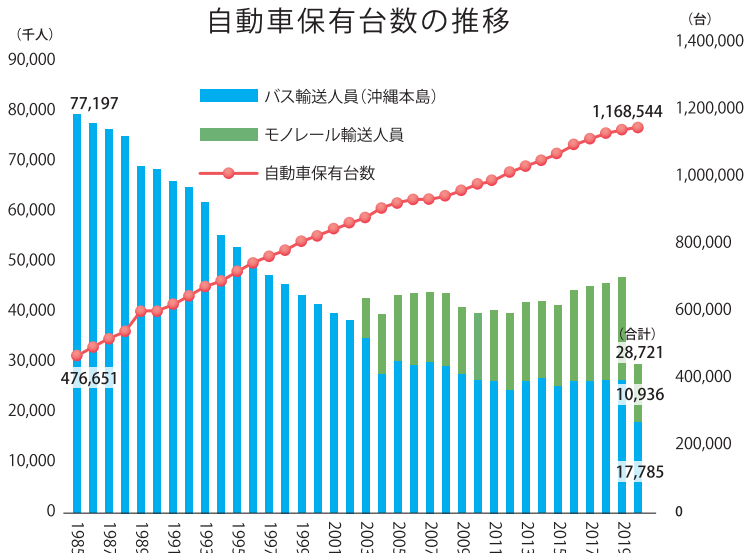
出典：令和元年国民生活基礎調査（厚生労働省）、平成27年度沖縄県子どもの貧困実態調査（小中学生等）について（沖縄県）、平成29年就業構造基本調査（総務省）

出典：令和2年国勢調査速報沖縄県の人口と世帯数

2 沖縄のいま

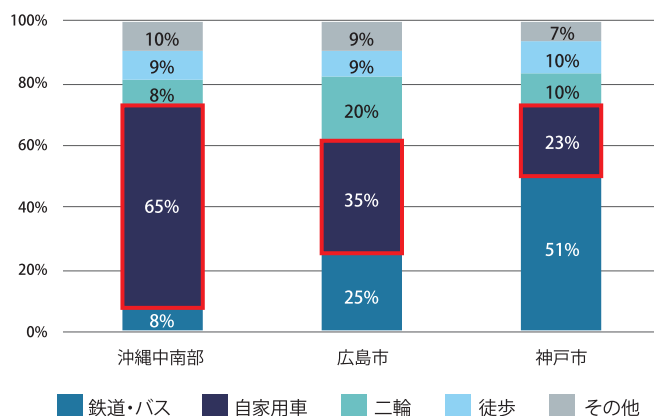
自家用車中心のライフスタイルは経済発展を支えてきた一方で、現在、慢性的な渋滞の発生など、生活、社会、経済の質を低下させる要因にもなりつつあります。

バス・モノレール輸送人員と自動車保有台数の推移



出典：沖縄県資料(運輸要覧、運輸概況、沖縄県HP)より作成

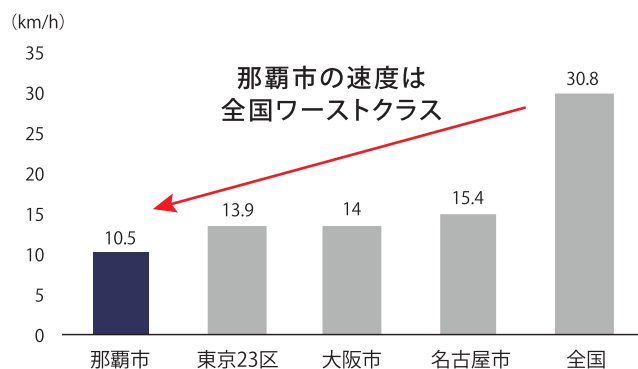
通勤通学時の主な交通手段



出典：令和2年国勢調査結果より作成

沖縄県の自動車保有台数は年々増加し、通勤など様々な場面で使用されています。一方で、公共交通の利用はかつての半分程度となっており、自動車依存の傾向が強まっています。

平日朝夕(混雑時)の平均旅行速度



出典：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査

那覇市の通勤時間帯では、三大都市圏よりも深刻な渋滞が発生しています。

生活、社会、経済の質に影響

企業活動・働き方 ▶ P5.6

くらし・まち・環境 ▶ P7

学生やご家族 ▶ P8

高齢の方やご家族 ▶ P8

観光 ▶ P9

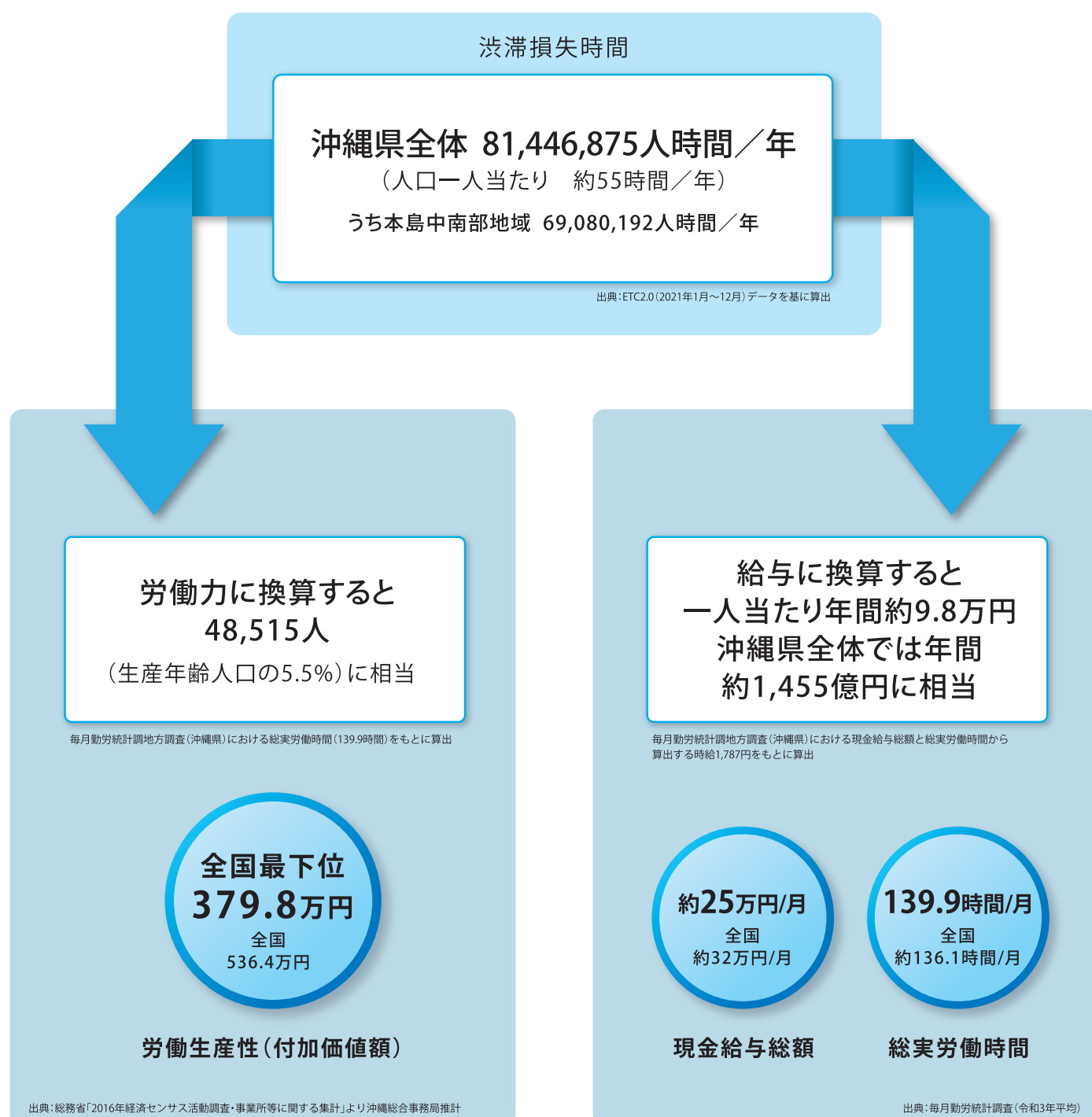
人口減少地域 ▶ P9

3 企業活動や働き方にも様々な影響を与えています

企業活動や働き方の効率性にも影響します。

○従業員の働く時間の減少、従業員の生産性低下、自家用車通勤前提の雇用制度による採用できる人材・形態の選択肢の減少などを通じて、収益力の低下や人手不足の深刻化につながります。

○また、働く方々にとっても効率的な働き方を妨げる要因となります。



(注) 渋滞損失時間から毎月勤労統計調査をもとに内閣府で試算

3 企業活動や働き方にも様々な影響を与えています

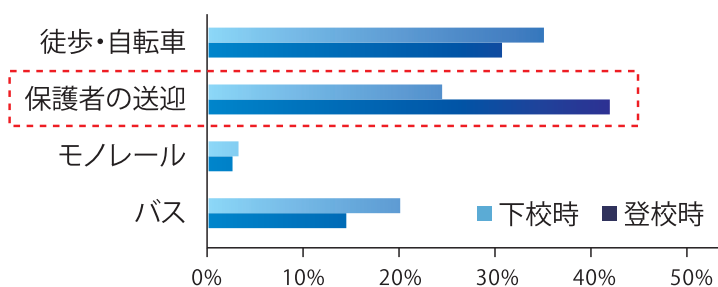
就労時間、勤務地の制約など働き方にも影響します。

○渋滞以外にも家族の送迎などにより使える時間が減少します。

○これにより、休息や自己研鑽に充てられる時間が減少するほか、働く形態や場所が制約されてしまうこともあります。

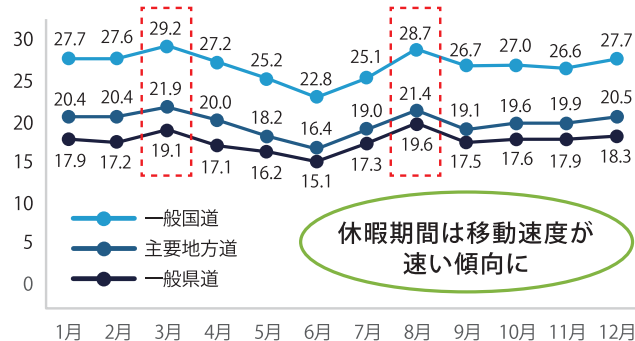
子どもの送迎など様々な場面で時間が失われています

沖縄県の高校生の通学手段



出典：沖縄県 高校生通学実態調査(令和元年)

月別の渋滞状況 (那覇都市圏の旅行速度(平日朝ピーク))



休暇期間は移動速度が速い傾向に

出典：ETC2.0ブロープ資料から算出(2019年)

沖縄県の高校生は、4割以上の生徒が通学に保護者の送迎を利用しています。

子どもの送迎のために生活を合わせる必要があるほか、子どもの活動時間も制限されます。

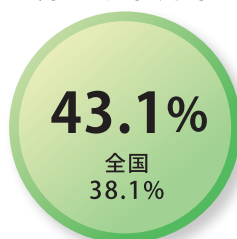
非正規雇用率も全国より高くなっています

3年内離職率



出典：沖縄労働局発表資料(令和4年)

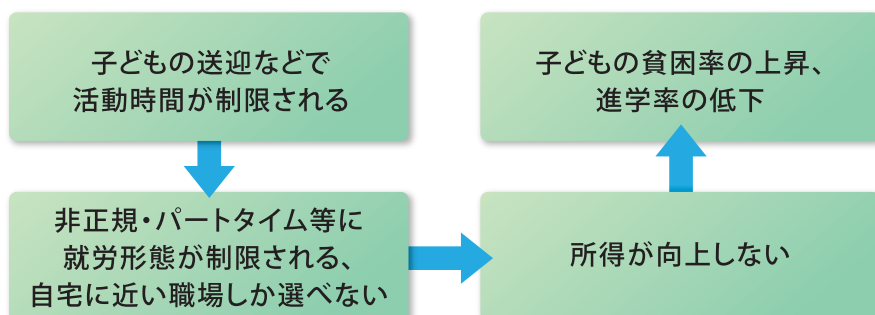
非正規雇用率



出典：平成29年就業構造基本調査(2017年時点データ)

本来は正規雇用で就労できる方が自分の時間を確保できず、やむを得ず非正規雇用となる状況も発生しています。

働き方の制約は貧困問題にもつながっています



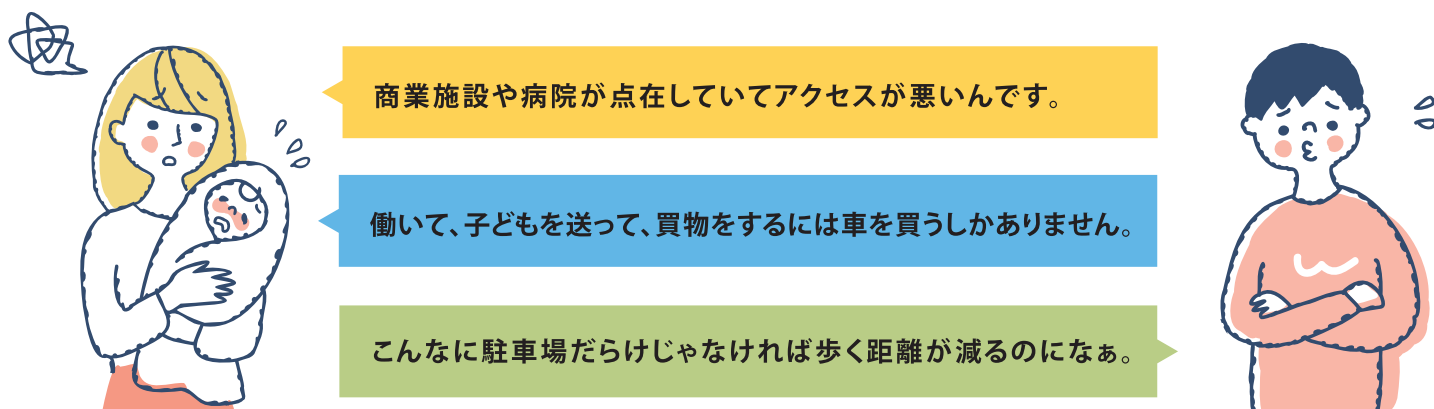
沖縄の子どもの相対的貧困率は約30%と、約3人に1人が貧困状態となっています。特に片親世帯などでは就労と子育ての両立が難しく、貧困家庭からは子どもの送迎に対する支援を望む声も多くなっています。

3 まちや暮らしにもさまざまな影響を与えています

まちや暮らしの利便性にも影響します。

沖縄のまちの形成は、移動手段の中心が自家用車（レンタカー）であることが前提となっています。そのため、

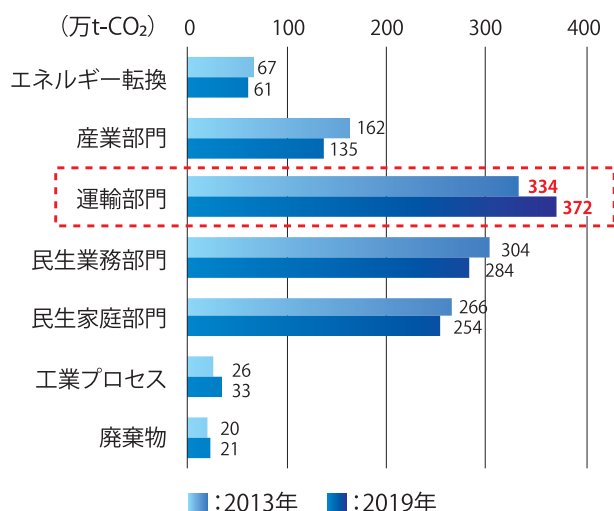
- 都心部では、需要に応える形で企業や商業施設などに平面駐車場が設置されていますが、効率的な土地利用、周遊環境・緑地整備などの観点からは課題です。
- 駐車場が持ちやすい郊外へと居住地の拡大が進み、通勤通学距離が長くなる、買物などに車が欠かせなくなるなどの影響もあります。



環境にも負荷がかかっています。

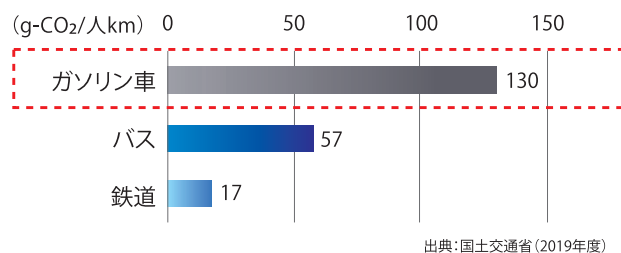
多くの部門でCO2排出量削減が進む一方、運輸部門は増加しています。このことはエネルギーコストという形で企業や家計にも影響します。

CO2の部門別排出量の推移（沖縄県）



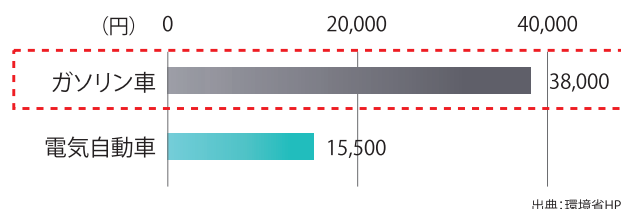
(参考)

輸送量当たりの二酸化炭素排出量



(参考)

燃料費（1年あたり5,000km走行した場合）



3 学生の皆さんや高齢者の方々、そのご家族にも影響を与えています

課外活動や部活動など、学生生活の大切な時間に影響します。

保護者の方による通学送迎は、徒歩などに比べて安心感や負担軽減につながる一方、保護者の仕事の時間帯に合わせて登下校しなければならない、送迎中の渋滞により時間が奪われるといった課題も発生します。



親が送迎してくれてありがたいけれど、放課後にやりたいことができなかったり、迎えを待たないといけなかったりするんだよね。

親の送迎がなくても遠くまで遊びにいきたいなあ。

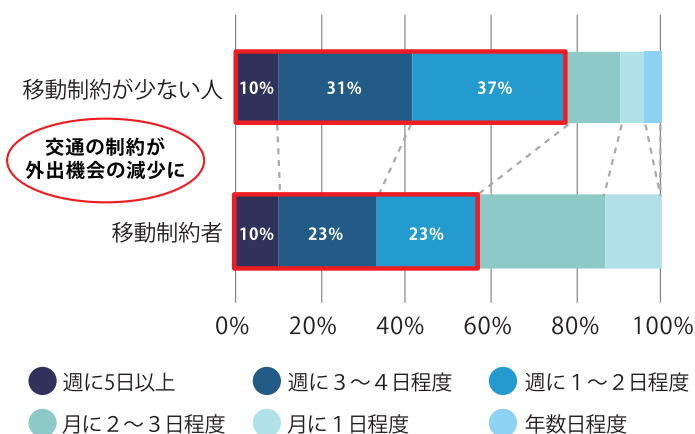
今日は車で大学に来たから、友達と飲み会に行くのはやめておこうかな。



高齢者の方々の外出機会・安全にも影響します。

運転が困難な高齢の方々にとっては移動が難しく、外出機会の減少につながります。また、そのような中で自動車を手放すことができない高齢の方が増えると、事故に遭われる可能性も高まります。

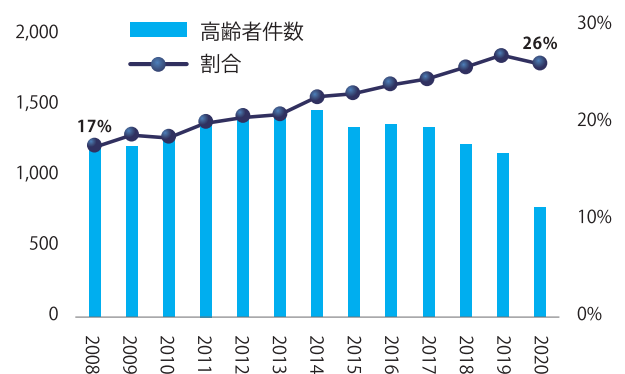
高齢者の買い物目的外出頻度（沖縄中南部）



*移動制約者：自ら運転できない方、家族・知人等の送迎が週1回以下の方

出典：内閣府調査（2022年度）

高齢者の事故件数と全体に占める割合



出典：沖縄県交通白書

子育て・介助に伴う送迎により、ご家族の生活にも影響します。

学校や塾、病院や介護施設、買物などへご家族が自家用車にて送迎することで、ご家族の方の生活にも影響します。

3 観光にも影響を与えています

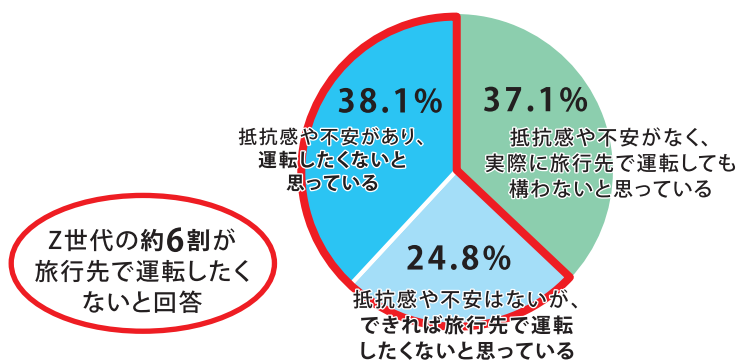
沖縄観光の満足度に影響します。

- 全国的に若年層を中心に車離れが進む中、運転しない旅行客に敬遠されることが懸念されます。
- 環境や社会のサステナビリティに配慮した旅をしたい層の誘客にも影響します。
- また、渋滞により、実質的な滞在時間・消費機会の減少にもつながります。

若年層は旅先での運転をしたくない傾向

Z世代の移動手段に対する意識調査

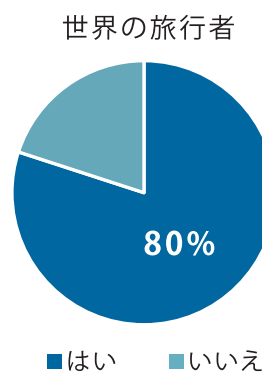
- Q:あなたは旅行先でレンタカー（カーシェアを含む）を運転することに対してどのようにお考えですか？



出典：一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー「沖縄 旅行における移動手段に関する意識調査」

サステナビリティへの関心の高まり

- Q:「よりサステナブルな旅行をすることは自身にとって重要である」と回答した人の割合



出典：ブッキング・ドットコム（2023年）

人口減少地域では、生活や観光の質に影響します。

- 利用者の減少や人手不足により、公共交通サービスの質が低下する状況が発生しています。その結果、生活の質が低下しています。



病院に行くには家族の送迎が必要ですが、皆忙しいので、あきらめることがあります。

共同売店が廃止されて、生活や地域の見守りに問題を抱えています。

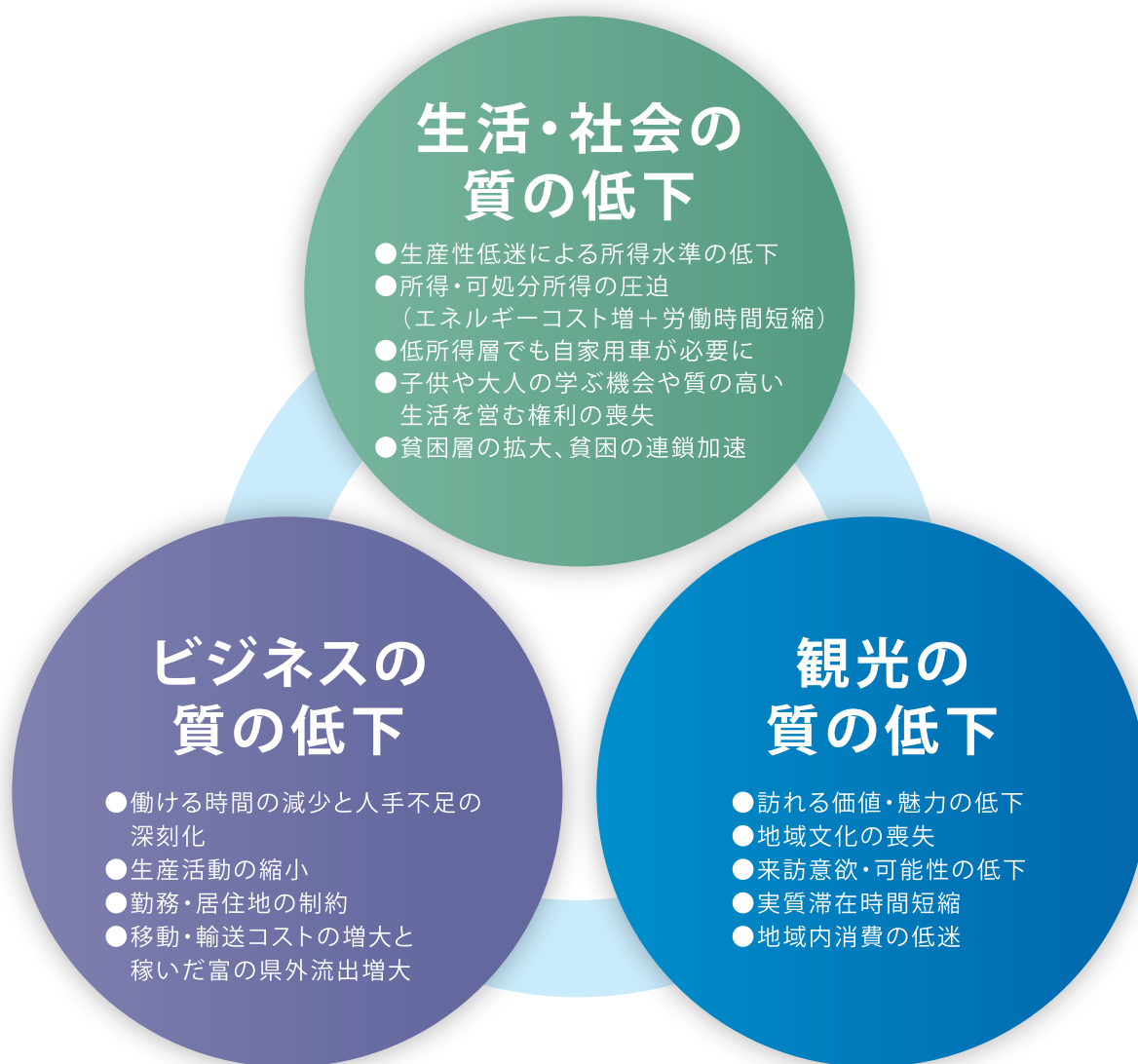
バスの便数が限られており、出かけるのが億劫になります。

本当は行きたい観光地があるけれど、交通手段が少ないからあきらめてしまった。



自家用車前提のライフスタイルは、これまでの沖縄の経済成長を支えてきました。

一方で、今の状況が続くと、沖縄の生活・社会、ビジネス、観光の質の低下につながることも懸念されます。



こうした状況について知っていただき、皆様のご意見を伺いながら、今後の沖縄の持続可能な社会・交通の実現に向けた検討を進めてまいります。

そのために、まずは現在の社会・交通環境では実現できていないこと、あるいは「本当はこのようなくらし、旅行がしたい」といった「ありたい姿」について、皆様の声をお聞かせください。

今回のパブリックインボルブメントについて、
オンラインにてご意見を募集しております。

皆様のご意見をお聞かせください。

〈ご意見募集フォーム〉

以下二次元コードのご意見募集フォームから
ご回答をお願いいたします。



〈内閣府 沖縄総合事務局 パブリックインボルブメント特設ページ〉

今回のパブリックインボルブメントの情報や、
実施中のインタビュー等について掲載しております。



<https://www.ogb.go.jp/nyu/9280/okiko-ridezain/Pizissi>

会場では担当者がご意見を伺います。
上記二次元コードのご意見募集フォームより回答いただくことも可能です。

